

# こんにちは 豊前市議会です

し尿・ごみ処理等生活インフラ調査特別委員会が  
設置されました(詳細は13・14ページに掲載)



豊前広域環境施設組合

## 9月定例会(9/5～9/27)主な内容



### 目次 CONTENTS

議案の概要	2～3P
平成28年9月定例会 議案審議結果	4P
一般質問	5～12P
特別委員会の経過報告	13P
特別委員会の設置・編集後記	14P

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311  
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>



## 議案の概要

平成28年第4回定例会は、9月5日から9月27日までの23日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例3件、予算6件、決算10件、その他の案件2件の合わせて21議案が提出されました。議案はそれぞれ所管の常任委員会で審査され、1議案が継続審査となり、残りの20議案は原案どおり可決・認定されました。

また、議会運営委員会より特別委員会設置に関する議案が出され、原案どおり可決されました。

市長より人事案件2件、人権擁護委員の推薦に関する諮問案1件が出され、いずれも市長提案のとおり同意されました。

なお、選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙が行われ、指名推選により8名の委員及び補充員が選出されました。

## 同意案件

市長の提案に対し、全会一致で同意しました。  
(敬称略)

### ■公平委員会委員

(任期4年)

豊前市大字永久  
亀田 陽一

### ■教育委員会委員

豊前市大字市丸

上田 大作  
豊前市大字八屋  
信原 眞由美  
豊前市大字中村  
本松 多美子

## 人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしということになりました。

(敬称略)

### ■人権擁護委員の候補者

(任期3年)

豊前市大字大村  
大貫 久美子  
豊前市大字四郎丸  
重松 英人  
豊前市大字下川底  
白川 志津子  
豊前市大字岸井  
釘丸 千代美

## 選挙関係

本会議において、指名推選により次の方が当選しました。  
(敬称略)

### ■選挙管理委員会委員

(任期4年)

豊前市大字下河内  
笈木 みな子  
豊前市大字塔田  
福田 信順  
豊前市大字下河内  
山田 靖  
豊前市大字宇島  
上野 正治

### ■選挙管理委員会委員の補充員

豊前市大字大村

後小路 晴己  
豊前市大字三毛門  
別府 敏雄  
豊前市大字大村  
大貫 久美子  
豊前市大字赤熊  
小石 勝弘



## 決算審査に関わる特別委員会が設置されました。

メンバーは以下のとおりです。  
審査内容については左ページを参照して下さい。

委員長	鎌田 晃二
副委員長	古川 哲也
委員	秋成 英人
委員	黒江 哲文
委員	平田 精一
委員	鈴木 正博
委員	福井 昌文

## 口腔ケアに関する予算案が継続審査に!!

9月議会に提案された議案第54号は、後期高齢者の「在宅歯科訪問事業」いわゆる「口腔ケア事業」に関する補正予算であり、平成27年度の口腔ケア事業を引き続き実施し、データベースを構築するものでありました。

文教厚生委員会に付託され審査が行われましたが、委員より「今年度の事業は、補助金ありきで効果が不明である」や「平成27年度の口腔ケア事業の検証が先ではないか」との意見があり、執行部に口腔ケア事業の当初計画やデータの分析結果の提出を求めました。しかし、執行部は十分な説明ができず、この件に関しては『継続審査』でお願いしたいとの執行部からの申し出があり、採決の結果、継続審査となりました。

# 「政治倫理審査会」開催を申入れ!!

今議会の決算特別委員会での審査で、ふるさと納税の返礼品の中に後藤市長の家族が経営に携わる物品が含まれており、市長の政治倫理条例に抵触するのではという疑義が生じました。この件に関しては、平成26年12月議会で、ふるさと納税の返礼品の中に後藤市長の関連会社の商品が含まれており、議員より指摘され、反省し改めたにも関わらず今回、同様のことを行なっていました。

また、道の駅「豊前おこしかけ」の指定管理者であるぶぜん街づくり会社の株に関しても、後藤市長が個人名で保有し、株式配当を受けていたことがわかりました。この株式保有の件についても、平成26年8月の指定管理者選定委員会や同年12月議会で議員より指摘がなされ、市長は「適切に処分したい」との回答であったが、いまだに株式を保有し、配当を受けていました。この件に関しても、政治倫理条例に抵触するのではという疑義が生じたため、議会運営委員会で審議し、市長に対して「政治倫理審査会」の開催を申し入れました。

住民の納得できる予算執行がなされたか?

## 平成27年度

# 一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、決算特別委員会が設置され一般会計の決算状況について審査を行いました。委員会は、9月15～16日の2日間にわたり開催し、平成27年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では市側に対して多くの質問や指摘がなされましたが、主な指摘事項は次のとおりです。

決算審査における  
主な指摘事項

◎ふるさと納税の返礼品について

◎地域おこし協力隊導入業務委託契約について

随意契約については、これまでも改善を要望してきましたが活かされていない。これからは疑義が生じないよう財務規則を厳守するよう申し入れました。

その他、予算の無駄使いにならないよう様々な指摘をしました。

# 平成28年9月定例会 議案審議結果

「○」…………… 賛成 「●」…………… 反対  
 「議長」……… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	鈴木正博	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第47号	豊前市定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第48号	豊前市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第49号	専決処分について（豊前市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第50号	旧慣による公有財産の使用の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第51号	豊前市外二町清掃施設組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第52号	平成28年度豊前市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第53号	平成28年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第55号	平成28年度豊前市バス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第56号	平成28年度豊前市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第57号	平成28年度豊前市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第58号	平成27年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第59号	平成27年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第60号	平成27年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第61号	平成27年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第62号	平成27年度豊前市宮駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第63号	平成27年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第64号	平成27年度豊前市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第65号	平成27年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第66号	平成27年度豊前市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第67号	平成27年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第68号	し尿・ごみ処理等生活インフラ調査特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第4号	豊前市公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第5号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第54号	平成28年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

議案第54号については、「継続審査」に対する賛否を問いました。

# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『無会派』の一般質問



古川 哲也

### 【質問項目】

- ① 中心市街地の現状と今後
- ② 市民の安全、安心
- ③ 教育進路
- ④ 広域圏事業へ豊前市長としての心構え

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。  
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

## 学校の進路に関し、市教委の考えを問う

古川議員 学校の進路に関して、吉富中の生徒は中津の高校に行けるが、八屋中などの生徒は行きたくても行けないのが実情だ。これは近隣の町では毎年、大分県の教育委員会に申し入れに行っているためだと聞かすが、教育長の所見を伺いたい。

教育長 近隣の町長や教育長が順番で大分県の教育委員会を訪れ、礼を尽くしていることは知っている。しかし、現時点では私は訪問していない。

古川議員 学校の選択肢は広い方が良く決まっています。それを選ぶか選ばないかは自分の努力次第だと思う。この件に関しては市長、教育長あたりの政治レベルの話になるのかと思うが、教育長の考えを伺いたい。

教育長 福岡県では県立高校の活性化ということ

で29年度から大分・佐賀

県より生徒を受け入れる方針である。その中に青豊高校も含まれており、地元の高校が活性化するのは良いが、豊前市の生徒が不利益を受けることなく、中津の高校に行けるようお願いしているが、現時点では厳しい。これは政策の問題だろうと思うので、福岡県教育委員会にお願ひに行かなければと考えているところだ。

古川議員 次世代を担って立つ金の卵たちのため、教育長の頑張りをお願いしたい。

次に、高等教育の現場

に関して、市の周りには大学がないため、豊前市の小・中学生は大学がどのような所なのかあまり知らないと思う。そこで市内の学校では、大学への社会見学や視察等の考えがあるのか伺いたい。

学校教育課長 この件に関して中学校長と意見交換を実施した結果、将来の進路選択の参考やキャリア教育の一環として大学見学を実施しているところもあった。ただ学校側としては経費が伴うため、その点が気になるということであった。

古川議員 お金が掛かることではあるが、百聞は一見に如かずという言葉もある。各学校の先生とよく相談し、生徒の気運が高まるような施策をお願いしたい。



# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成新世会』の一般質問



岡本 清靖



尾澤 満治



内丸 伸一

### 【質問項目】

- ① 文化施設
- ② 環境関連施設問題
- ③ 教育問題
- ④ 安全・安心なまちづくり
- ⑤ 市長の公務と私用
- ⑥ 市政懇談会
- ⑦ 生涯現役の社会づくり
- ⑧ 地域おこし協力隊
- ⑨ うみてらす豊前

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。  
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

## 市民が待ち望む

### 文化施設の建設を

内丸議員 豊前市には音楽や芸能に関する団体が様々あり活動を行っているが、老朽化した市民会館では舞台の広さや収容人数、音響、空調等の問題で、活動成果の発表は近隣自治体の文化施設を利用している状況である。数年前より建替えの検討がなされているようだが、現在の状況を伺いたい。

市民会館より、文化施設の建設は必要であり、第1候補地はマルシヨク周辺、第2候補地が現在の場所ということで提言書をお願いしている。それを受け現在、市役所内部で協議を行っているところだ。

内丸議員 文化施設建設には多額の費用がかかると思うが、執行部は建設予定時期をどのように考えているのか伺いたい。

副市長 市民会館の建設には30億円程度必要と見込んでいます。豊前市は財

政状況が厳しいため、ある程度の資金が見込めるからの建設になると思う。まずは土地取得で道筋を付け、その後に建築したいと考えています。

内丸議員 市民が望まない施設の建設で巨額の税金を使うのではなく、市民が望むものにお金を使うのが生きたお金の使い方だと思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 文化施設建設は市民ニーズの最も高いところに位置付けられていると記憶している。大変財政が厳しい中ではあるが、他の自治体でも知恵を絞って頑張っているところもある。そのようなところを学んで最善の策を求めていきたいと思う。

内丸議員 今年度に入ってから会議が開かれておらず、関係者からは「どのようなになっているのか分からない」という声も聞く。執行部に現状をお聞きしたい。

副市長 本年2月15日に



豊前市市民会館

## 市長の誠意ある対応で早急な施設整備を

で改修が行われず、施設の老朽化で処理能力が落ちたことが原因ではないかと思うが、執行部の考えを伺いたい。

生活環境課長 今回の発泡等は、同一の処理をしている他の自治体の施設でも発生していると思う。そのため、老朽化が直接の原因ではないと思うが、故障が増えれば日々の運転が難しくなるので、点検や部品交換等を適宜行いたいと考えている。

内丸議員 早急に処理方式を変更し運用開始しなければ、補修等で多額の税金を使うことになる。そうしないためにも早期整備が必要と思うが、運用開始時期の考えを市長に伺いたい。

市長 現在、1市2町で

内丸議員 今回の水質の悪化は、施設の長寿命化計画を白紙に戻したこと

運営しているが、この先1市1町での運営となる。出来れば平成30年での切替えが最も負担が少なくなるようなので、その方向で頑張りたい。

内丸議員 6月議会で、市長は誠心誠意頑張ると答弁しているが、現状を見ると到底そのように見えない。早急に地元6区及び吉富町・上毛町と協議し、計画を実行に移さないといけないと思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 6月議会後、両町に自ら出向き協議を行ったが、費用を見てから判断したいとのことであった。そのため、今後は地元6区の理解を求めながら両町と協議し、早急に実現できるように頑張っていきたいと思う。



豊前広域環境施設組合

## 地域おこし協力隊へのサポートをしっかりと

岡本議員 平成27年度より地域おこし協力隊を募集し、現在7名の協力隊員が頑張っていると聞く。そのうち2名が合河地区と岩屋地区に入っているようだが、業務内容を伺いたい。

総合政策課長 両地区へは地方創生仕掛け人として隊員を募集しており、募集要項での活動内容は、合河地区では柚子を活用した加工品の開発と販路の拡大など、岩屋地区では農業振興につながる新たなツーリズム商品の開発・推進業務などとなっている。

岡本議員 隊員の中には地域とのコミュニケーションがとれていない人がいるようだ。市は隊員を地域任せにせず、しっかりとサポートが必要と思うが、執行部の考えをお聞きしたい。

総合政策課長 当然、隊

の繋がりがや定住・自立に向けた活動が必要である。市は隊員への支援をどのように考えているのか伺いたい。

総合政策課長 3年という大変短い期間の中で、隊員は起業や就業に向けて進まなければならない。本人の将来設計や活動状況などを踏まえてサポートしていきたいと考えている。

岡本議員 合河と岩屋地区の隊員はもみじ学舎を事務所として使っていると聞く。その場所を全隊員の交流の場とすることで、起業や自立に向けた前向きな話し合いができると思う。是非、行政も参加し、将来に向けたサポートをお願いしたい。

### 全国で隊員活躍中!



地域おこし協力隊のポスター

# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成豊友会』の一般質問



福井 昌文



磯永 優二



鎌田 晃二



秋成 英人

- 【質問項目】
- ① 市バス
  - ② 広域事業
  - ③ 企業誘致
  - ④ パスポートの申請
  - ⑤ 職員の勤務形態
  - ⑥ 教育問題
  - ⑦ 市営住宅
  - ⑧ 文化施設の活用
  - ⑨ 地方創生事業（古民家改修事業等）
  - ⑩ 市民サービス
  - ⑪ 脳脊髄液減少症
  - ⑫ し尿、ごみ処理施設

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

## バス・ポート事務などで 広域行政の推進を

秋成議員 現在、パスポー

トの申請・受け取りができる最寄りのバスポートセンターは北九州市にあるが、移動や待ち時間などを含めると1日かかってしまうことがある。今、県が行っているこの業務を豊前市が行おうとする動きがあると聞くが、進捗状況を伺いたい。

市民課長 パスポート事務の権限移譲については、3年くらい前から県に強く要望しており現在、来年4月の開始に向け県と協議中である。

秋成議員 便利になり、住民にとっては非常にありがたいことだと思うが、市は1年間のバスポート申請をどの程度見込んでいるのかお聞きしたい。

市民課長 パスポート申請実績は、平成27年度が377人で、平成26年度が343人となっております。

年間300〜400人で

推移している状況である。秋成議員 1日あたりの利用はさほど多くないことが予想される。そのため、この業務を近隣自治体と共同で行ったほうが効率的と思うが、執行部の考えをお聞きしたい。

市民課長 昨年10月の説明会には豊前市と吉富町、上毛町が参加していたが、現在は豊前市のみが権限移譲を要望している状況である。

秋成議員 今後、国の政策として10万人程度の中核市を中心に行行政活動を行うようになると思われる。

しており、京築や豊築がひとつになる可能性は十分にある。近隣自治体に対して共同事業を提案するなど検討の余地があると思うが、市長の考えをお聞きしたい。

市長 近隣の町長とは、この件に関しては時折話しが出ていた。ただ、受け入れるとなると、それぞれでするのか、まとめてするのか、費用はいくらかかるのか等の問題の検証が必要である。

秋成議員 人口減少により消滅自治体が増えていくことは間違いない。今後は近隣自治体を手を取り合い、広域行政を考えていく時代になると思うので、豊前市だけが取り残され孤立することがないよう市長にお願いしたい。



パスポート申請書



## 現在に合った募集で市営住宅の有効活用を

については子育て向け住宅として改修しており、所得基準のほかに入居時に小学校未就学児を扶養していることが条件になっている。

**福井議員** 現行の基準だと特定の人に限られ、小中学生の子供を持つ家庭は入居できない。多くの空き室があり、有効利用するためにも条件の緩和を考えていないのか伺いたい。

**福井議員** 市営住宅の本来の目的についてお聞きしたい。

**都市住宅課長** 住宅に困窮する世帯に対して、健康で文化的な生活が保たれ、低廉な家賃で住宅を賃貸することで、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的にしている。

**福井議員** 定住促進住宅は120戸中、77戸しか入居していないが、入居基準は何か伺いたい。

**都市住宅課** 月額7万9000円以上の所得のある勤労世帯が対象となっている。そのうち、10戸



定住促進住宅

し抽選したが、抽選以後退去された人もおり、現在4戸空き室となっている。

**福井議員** 退去後のメンテナンスもあるだろうが、住む所に困っている人もおり、空き室が出来た場合は1日も早く募集をしてもらいたい。次に、市営住宅は新しいものと古いもので設備に差があるようだが、古い住宅の今後の方針について伺いたい。

**副市長** 議員のご指摘はごもっともだと思う。定住促進住宅本来の目的を忘れることなく、本市に合うよう基準を緩和し、入居を促進したい。

**福井議員** 本町団地は現在4戸空いているが、7月に何戸募集したのか伺いたい。

**都市住宅課長** 1戸募集

**福井議員** 建替え時は民間を圧迫しないよう、また、古い住宅についてはメンテナンスや安全性を重視し今後の対応をお願いしたい。

## 脳脊髄液減少症を正しく認識し広く周知を

**鎌田議員** 脳脊髄液減少症の人が、ブラットパツ

治療で劇的に症状が改善したという事例が報告され、この4月から保険適用になった。このことについて、市長に見解をお聞きしたい。

**市長** 保険適用に向け努力された方に敬意を表し、本市のこの症状の人に保険適用で治療が出来るチャンスがきたと認識している。

**鎌田議員** 本市にもかなりの人がこの症状に苦しんでいると聞く。6年前に、一般質問で周知していただきたいとお願いしたが、その後の取り組みについてお尋ねしたい。

**健康長寿推進課長** この4月に保険適用になったことを受け、広報や健康づくりカレンダー等に掲載し、市民・学校関係者に周知を図りたいと考え

ている。

**鎌田議員** この脳脊髄液減少症は本当に知られておらず、市内にも多くの患者がいると思う。保険適用になったので、是非、広報をお願いしたい。また、学校では啓発が進んでいると聞くが、現在の状況と脳脊髄液減少症についての認識をお聞きしたい。

**学校教育課長** 平成24年

### 「脳脊髄液減少症」とは？

何らかの理由で脳脊髄液が減少し、頭痛や様々な全身症状が現れる疾患である。

その症状は、起立性頭痛(起き上がると頭痛が増強する)を主とし、頸部痛、全身倦怠(疲れやすい)、めまい、吐き気、耳鳴り、“うつ”など多彩であり、脳脊髄液減少の原因は産生が減るか、漏れ出ているからと言われている。

主な原因は以下のとおりである。

- ① 長期の脱水
- ② 交通事故
- ③ スポーツ外傷
- ④ 出産
- ⑤ 腰椎穿刺など

に文部科学省のスポーツ青少年局学校健康教育課から、脳脊髄液減少症について正しく理解した上で、適切な対応をするよう通知がきている。また、豊前・築上地区の学校保健会は、毎年合同研修を行っているが、昨年度は総合福祉センターに産業医科大学の脳神経科学の先生を招き、脳脊髄液減少症についての講演会を実施した。

**鎌田議員** 不登校の児童・生徒の中にも原因がわからず悩んでいる人もいると思うので、市民に広く周知することを強くお願いしたい。

# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



鈴木 正博



郡司掛 八千代



黒江 哲文

### 【質問項目】

- ① 市政運営に対する事業と予算の運用
- ② ふるさと納税
- ③ 高齢者対策
- ④ 地域おこし事業
- ⑤ 子育て支援
- ⑥ 豊前市の防災対策
- ⑦ 健康な体づくり
- ⑧ 農業問題
- ⑨ 生涯学習推進

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご覧ください。

## ごみの分別に関する市長の発言を問う

黒江議員 市長は「市長の部屋や「市政懇談会」において、「ゴミの分別、減量化について訴えているようである。しかし、市民は混乱を招き、苦情を含め様々な意見があったと聞いている。その件について市長の考えを伺いたい。」

市長 市の財政事情から鑑みて、どこを節約するべきかと考えた一つに、ごみの減量というのが絶対必要であると思った。ごみを減らすだけでも焼却施設の炉の傷みが少なくなり延命化につながる。また、灰を処分する最終処分場の寿命にもつながる。更に資源化をすることによって利益にも結びつく。そういう意味で減量をするべきだと提案をした。

黒江議員 草については自家処理し堆肥にする方法、生ごみについては段ボールコンポストで家庭

処理する方法を紹介し、2、3年かけ市民に周知をしたいと発言したそうだが、これは市の方針なのか伺いたい。

市長 ごみ処理について、皆が自分の問題として取り上げ、意識を高めてもらいたいと思い、実践例を紹介したつもりである。

黒江議員 ごみを分別しても処理する機能がないのに、市民に推進するというのは、順序がおかしいのではないかと思う。庁内でしっかり協議し方向性が定まったもの、そして議会から承認を得ていること、

また携わる関係機関とも共有していること。このような上で市民に報告すべきではないか。

市長 庁内で協議をしたと認識している。市民に直接呼び掛けるのも、私の大きな役割ではないかと考えている。

黒江議員 ごみの分別や資源化については大変重要なことであり、取り組みも必要だと思う。しかし、市民が混乱しないようにルールを守っていった方がいいのではないかということ提案する。市長がやりたいことをするのはなく、市民がやりたいことができる市長になっていただきたい。豊前市を変えるために、市自体を支えている市民を大切にしよう願う。



## 「ふるさと納税」 積極的な取り組みを

**平田議員** ふるさと納税は全国的に過熱しているが、豊前市の過去3年間の寄附額を教えてください。  
**総合政策課長** 25年度977万円、26年度749万1000円、27年度見込み1219万7000円となっている。  
**平田議員** 返礼品の数は現在どれくらいになったのか伺いたい。  
**総合政策課長** 当初20年度1品、23年度3品、26年度10品、27年度28品、現在149品である。  
**平田議員** 当初は非常に努力が欠けていたのではないかと。知恵を絞れば

ばまだまだ増える見込みがあるのではないかと。また今後、ふるさと納税が廃止されたとき、どうやって生き延びるかが重要である。いま顧客リストを増やしておけば、直接販売ができるようになる。ぜひ寄附件数を増やすよう努力していただきたいと思うが、副市長の考えはいかがか。

**副市長** そのとおりであると思うが、ただ数を増やせばいいとは考えていない。豊前市にしかない特産品を発掘し、全国にPRをしていく必要があると考えている。

**平田議員** 今年の4月よ

### 「企業版ふるさと納税」とは？

企業が地方創生につながる自治体の事業に寄附を行った場合、法人税などが軽減されるもの。

正式名称は、地方創生応援税制といい、2016年度の税制改革において創設された。政府が地方創生につながる自治体の事業が寄附対象となり、企業側は寄附額の約6割の税負担が軽減できる。

り「企業版ふるさと納税」がスタートした。これは自治体が「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」を企画立案し、企業に相談を行い、寄附の見込みを立てるといった流れになっている。市が企画立案しないと事が進まないわけだが、話し合いは行われているのか伺う。

**総合政策課長** 具体的な審議はまだ行われていない。

**平田議員** 市長を筆頭に早急に皆で考えるべきである。財源が切迫した豊前市であるので、ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。

## 就学援助の周知徹底と 給付時期の見直しを

**郡司掛議員** 就学援助制度の概要と、周知の方法について説明をお願いしたい。

**学校教育課長** 就学援助制度は、経済的理由により就学困難な児童生徒に対し、入学支度金や学用品、給食費、修学旅行費などの費用の一部を助成することによって、教育の機会均等を保障するものである。周知の方法については、1月から2月にかけて開催される各小学校の入学説明会の時にお知らせをしている。また、概ね4月号の広報に掲載している。

**郡司掛議員** 私がこの質問をするのは、「制度を教えてもらい助かった」という人と、「知らないばかりに、この援助を受けられればどんなに助かったか」という人の両方がいたからである。さかのぼり給付が

できないからこそ、周知の徹底が必要である。周知の機会を年度初めに一度だけでなく、保護者が見過ごすことがないように、せめて各学期に一度は配布プリント等での周知をお願いしたい。

**教育長** 確かに不徹底な面があるように思う。校長会等でその旨を説明し、学期に最低一度は学校だよりを活用するなどして広報の徹底に努めたい。

**郡司掛議員** 全ての1年生が、ピカピカのランドセルで入学式を迎えられるよう、3月支給について早急な対応をお願いしたい。

**郡司掛議員** 次に給付スケジュールについて、申請が4月1日、支給が7月となっている。ランドセル、通学服などは入学前に購入が必要なものである。3月に支給している自治体では、制度の周知を幼稚園・保育園等の保護者に行い、1月に申請をしている。ぜひ見直しの検討をお願いしたい。

**市長** 教育委員会としてしっかり相談しながら検討していきたい。

**郡司掛議員** 全ての1年生が、ピカピカのランドセルで入学式を迎えられるよう、3月支給について早急な対応をお願いしたい。



## 公民館を中心とした地域づくりの推進を

鈴木議員 豊前市はかつてないほど高齢化を迎え、地域のつながりや本来地域が持っている地域自治能力が失われ、地域力低下が表れるようになった。そこで豊前市では、新しい地域コミュニティの再構築のため、公民館を中心とした地域づくりが必要であると思うが、市はどのように計画を進めようとしているのか伺いたい。

生涯学習課長 平成22年に策定した「豊前市生涯学習推進基本計画」に従って事業を進めている。その中で、公民館を中心に地域のまちづくりの活性化を図ることで地域の課題解決

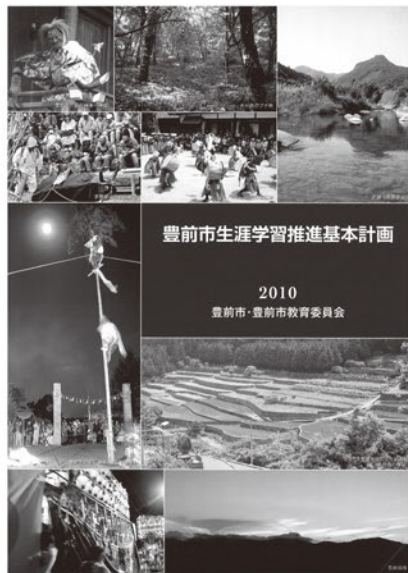
につなげていきたい。今後、地域コミュニティの活性化を図るべく計画を推進していきたいと考えている。

鈴木議員 生涯学習推進基本計画を見ると非常に中味の濃いものであり、実際にこのまま実施してもよいと思うが、市長の考えをお聞きしたい。

市長 確かに地域の公民館などを中心に地域の力をもう一度掘り起こして、立ち上がっていただくのが一番大事である。協働のまちづくり、地域の一人ひとりの力を大きく動かすというのは中々難しいが、公民館・校区単位で動かしていくの

は可能だと思う。そういうところを大切にしながら、人口減少を食い止め、元気なまちづくりをしていきたいと思う。

鈴木議員 岩屋地区は地域おこしということで花火や盆踊り等を実施し、私が青年団に入っている頃から地域活性化が盛んに行なわれていた。市内では各地区の行事の取り組みなどで温度差があると思う。温度が低い所は何をやっても最初は難しいと思うが、高い所は活性化が出来る。そのような所を利用しながら地域振興につなげてほしい。



豊前市生涯学習推進基本計画

# 開かれた議会を目指して 第5回議会報告会を開催します

市議会は、市民と議会とのつながりを深め、より一層の信頼関係を築くとともに、開かれた議会実現のため「議会報告会」を開催いたします。

議会報告会では、議会の中で審議・議論したことについての報告や市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行います。

市民の皆さんとともに市政について考え、今後の議会活動に生かしていきたいと思っていますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日程・時間・場所は下表のとおりです。

目安箱への投稿は我々議員に届きにくいので、議会宛への投稿もお願いします。内容を参考に市政改善につなげたいと思います。

日程	時間	場所
11月 7日 (月)	午後7時～	三毛門公民館
11月 8日 (火)	午後7時～	合河公民館
11月 9日 (水)	午後7時～	山田公民館
11月10日 (木)	午後7時～	中央公民館

※どの会場でもご参加できます。(議会報告会の時間は1時間30分程度です)

# し尿・ごみ処理等生活インフラ 調査特別委員会の経過報告

## 10月5日に「第2回特別委員会」を開催

執行部より、下記について説明がありました。

- ① し尿処理施設に関する経過報告について
- ② 吉富町・上毛町との一部事務組合への加入協議の結果について
- ③ 地元6区との協議の経過について
- ④ 今後の計画について 等

説明を受け、委員よりいろんな意見が出されました。主なものは以下のとおりです。

- ▶ 長寿命化の当初計画では、広域事業で実施予定だったので豊前市の負担は約3億4千万円で、今回示された計画では豊前市単独で負担は約14億8千万円プラス解体費等が見込まれるが、その差額の責任の所在はどこにあるのか？
- ▶ 長寿命化計画が崩れたのは、市長が液肥施設を推進したため築上町とみやこ町が脱退したのが理由ではないのか？
- ▶ 豊前広域環境施設組合議会より、吉富町・上毛町に市長（組合長）自ら出向き、し尿の共同処理推進を協議するよう平成26年8月に意見書を提出され、平成27年11月に決議されたにも関わらず、全く公式訪問していないのは如何なものか！
- ▶ 平成28年6月の当市議会に緊急を要するというので、し尿処理施設の基本設計に関する補正予算を提出したにも関わらず、あれから何も動きがないが、真剣に取り組んでいるのか？
- ▶ 早急に地元と協議し、市民の不安を取り除く計画を推進すべき！
- ▶ 平成28年8月23日の地元との話し合いの時に市長はすぐに退席したが、それはあまりにも不誠実ではないか！

## 10月12日に「第3回特別委員会」を開催

執行部より、下記について説明がありました。

- ① 長寿命化計画（し尿処理施設）の国への延期申請について
- ② 吉富町・上毛町への一部事務組合への加入協議及び議事録について
- ③ 長寿命化計画・液肥処理・公共下水道への繋ぎ込みに関する経費の比較について 等

説明を受け、委員よりいろんな意見が出されました。主なものは以下のとおりです。

- ▶ 長寿命化計画の延期申請は近隣市町への加入促進が理由であったが、市長は加入促進に向け真剣に取り組んだ経緯が全く見えない！
- ▶ 経費比較では、長寿命化計画が一番安価になっているが、再度、申請出来ないのか？
- ▶ 海上保安庁がし尿処理施設の排水を調査しているが、市長は地元漁協に説明に出向いておらず、漁協は憤慨している！

また、ごみ処理についても、委員よりいろんな意見が出されました。

- ▶ 「市長は、ごみ処理でも生ごみを使用し、計画が頓挫した液肥施設の建設をするのか」と市民に問われるが、そのような計画が本当にあるのか？
- ▶ 市長は、盛んに生ごみの分別を言うが、現在の施設の形態では、分別してもまた混ぜて燃やすだけではないのか！

**今後も、当委員会は生活インフラ等を調査し、執行部とも真剣に議論を交わすことで、一目も早く生活インフラの整備促進につながるよう市民のために努めてまいります。**

# 「し尿・ごみ処理等生活インフラ調査特別委員会」設置!!

このままでは、広域事業が終焉を迎え、生活インフラの整備が進まず、市民負担の増大を招くという危惧のもと、最終日に議会運営委員会より提案があり、採決の結果、全会一致で可決され「し尿・ごみ処理等生活インフラ調査特別委員会」が設置されました。

特別委員会の経過報告は13ページに記載しています。

## 特別委員会設置に関する提案理由

し尿・ごみ処理等の生活インフラ整備は市民にとって最優先事項である。しかし、市長がし尿処理施設の長寿命化計画を差止め、撤回したため、施設が一段と老朽化し、いつ運転が停止してもおかしくない状態になっている。また、地元との協議、吉富町・上毛町への加入促進協議も遅々として進まず、市民に大きな不安が広がっている。

ごみ処理についても、「市長の部屋」や「市政懇談会」等の市長の発言により、市民に困惑を与えている。

そこで、市民の不安・困惑を取り除き、生活インフラの整備促進に努め、市政発展に寄与するため、地方自治法109条及び豊前市議会委員会条例第6条の規定により特別委員会を設置するものである。

## 特別委員会のメンバーは以下のとおりです。

委員長	福井 昌文
副委員長	黒江 哲文
委員	内丸 伸一
委員	秋成 英人
委員	平田 精一
委員	鈴木 正博
委員	鎌田 晃二
委員	古川 哲也



特別委員会開催の様子

## 編集後記

日本列島が相次ぐ災害に見舞われ、津波、地震、台風と息つく暇もなく、大変な被害を受けています。

豊前市では今日まであまり大きな被害も受けずに過ごして来られましたが、最近では、そうも言ってもらえない気象状況が続いています。わが市においても防災に対し危機管理が必須条件となってきました。

地域防災が叫ばれている今日、「備えあれば憂いなし」のことわざに習い、住民同士がつながり、災害に対し準備することが大切ではないでしょうか。年長者の経験と知識を活かしていただき、若者には行動力とグローバルな視野での地域コミュニティの構築をお願いしたいと思います。

今回の熊本地震で、改めて一人ひとりが防災の認識を持つことの大切さを痛感いたしました。

郡司掛 八千代

次回の定例会市議会は  
**12月**です

## 議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会  
委員長：黒江哲文  
副委員長：郡司掛八千代  
委員：内丸伸一 秋成英人  
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社